



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:
ACT WITH
CONSISTENCY
CREDIBILITY
CONTINUITY



ロータリー-2000:
活動は-堅実、
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリー雑誌月間

第623回 平成12年 1月 5日(水)

【本日のプログラム】

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「奉仕の理想」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 委 員 会 報 告

新年家族懇親会

次 回 予 告

- ★ 1月12日(水)
夜間例会
1月セレモニー
会員卓話
田村 勝二君

- ★ 1月19日(水)
ロータリー理解推進
プログラム

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会 長	福井 輝文
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	堀田與之助
事務局	宮崎県佐土原町大字下郷阿3887-17	幹 事	恒吉 正志
	☎880-0212	会 計	林 厚雄
TEL.&FAX	0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

第622回例会記録 (1999.12.22)

☆会長の時間

会長 福井 輝文 君

皆様 今日は
第622回の例会です。
始めに、ビジターの紹介をします。
西都RCの野間 隆文君です。
ようこそ、お出で頂きました。

私が会長を仰せつかりまして、半年が過ぎました。

7月最初の例会が600回でしたので22回過ぎたこととなります。

本日は今年最後の例会で最後の会長の時間でもあります。半年間を振り返りながら、お話をしたいと思います。

何が何やら判らないまま、皆様のお力添えをいただきながら、何とか半年間が過ぎようとしております。

大きな行事、ガバナー公式訪問、地区大会等、前半に終わりました。一安心しているところです。

1999年も事件、事故等、色々ありました。犯罪の低年齢化も大きな問題です。我々ロータリークラブも青少年育成というプログラムがあります。

どうしたら、このような犯罪が防止できるかということを考えて行きたいと思えます。

JCOの事故で被爆された方が昨日、亡くなられております。

我々の身近な問題としては、シーガイア関連のニュースがあります。

来年は外相会議等予定されています。無関心ではられない事だと思います。

金融関係、自動車関係の再編成も予定されている様です。
激動の半年間だったような気がします。

環境問題を1年間のテーマとしていますが、今日配付した、コピーにありますように、過剰包装を見直し、容器包装リサイクル法施行で、今後環境負荷の低減は図られると思います。
勿論、家庭での分別、収集は大切です、

今年は会長という大きな役をいただきましたが、あと半年間、最後までどうぞご協力のほど、お願いいたします。

迎える、2000年、皆様にとってより良い年でありますよう、お祈りして、会長の時間を終わります。

☆幹事報告

幹事代行 吉田 康一郎 君

例会変更及び休会通知

- ①1月4日(火)は『年始特別休会』
1月18日(火)『新年家族会』のため、時間 19:00 ~に変更
西都 RC

1999~2000年度プログラムの予定表を配付しておりますので、皆様目を通しておいて下さい。

先日(12月17日)急遽でしたが、佐土原RCの忘年会を開催しました。

急遽のため、参加者は9名でしたが、楽しく、平成11年度の諸々を語ることが出来ました。

田村君から、地酒の差し入れ等があり、その美味のため、瞬く間に底をついてしまいました。

とても美味しい酒です。飲みたい方は田村酒店へ行って購入して下さい。

☆出席報告

委員長 柳田光寛君

会 員 数	26名
例会出席者	19名
出席率	73%
マークアップ者数	4名
修正出席率	88%
欠席者名	結 藤(朝)、龍詩

出席率UPのために、来年も頑張りましょう。

よいお年をお迎え下さい。

☆親睦委員会

委員長 吉田康一郎君

1月5日(水)の「新年家族懇親会」の願いを再度、致します。

是非、ご家族の同伴とバザー用品の出品を、5点程お願いします。

時間は18:30~

場所は当石崎浜荘です。

☆会員卓話

伊東忠寛君

「大君の御はたのもとに死してこそ
人と生まれし甲斐ぞありけり」

この歌は昭和20年6月13日未明、大東亜戦争に於けるわが国の本土決戦の最後の砦として、米軍の猛攻撃と最後まで戦い、指揮官として壮烈な拳銃自決をはかれた、元・大日本海軍沖繩根拠隊司令官 海軍少将 故 大田 実 氏の辞世の詩であります。

実は、このたび沖縄県南部方面の視察研修の機会を与えていただき、初めての南部方面戦跡巡りをさせていただきましたので私なりの感想を、1、2述べてみます。

一番心をうたれたのが「海軍指令部壕」でした。昭和19年日本海軍設営隊(山根部隊)によって掘られた防空壕で、当時は450mあったといわれているそうです。カマボコ型に掘り抜いた横穴をコンクリートと杭木で固め、米軍の艦砲射撃に耐え、最後の最後まで持久戦を戦うための地下陣地であり、4000人の兵士が収容されていました。

戦後暫く放置されていましたが、数回にわたる遺骨収集の後、昭和45年3月観光開発事業団によって司令官室を中心に275mが復元され公開されています。

105段、30ほどの階段を降りると通路が縦横に走る壕内…幕僚が手榴弾で自決した時の破片の後が当時のままくっきりと残っている「幕僚室」。

立錫の余地もない状態の中に収容され多くの兵士、負傷した兵士や病人が、戦死したという「医療室」、大田 実少将

ほか6名の幕僚が自決した「司令官室」
どの部屋も当時の机や椅子等があり、花
があげられていましたが、終戦を小学校
6年生で経験した私にとっては、当時の
厳しい日々が思い出され、心をうたれ、
自然に両手を合わせ…

今こうして自分達が平和のなかに生かし
ていただいているのも、この様な国のた
めに尊い犠牲となられた方々のおかげで
ある…とご冥福をお祈りしました。

「大君の御はたのもとに死してこそ
人と生まれし甲斐ぞありけり」

公僕として、警察官として、奉職した
40年間、そして今の自分のおかれている
立場を考えると、世のため人のために
奉仕する日々を与えていただいているこ
とに感謝すると共に、自分の人生に間違
いはなかったと、新たな「やる気」を感
じています。

もう一つは、「沖縄と観光」について
です。

「首里城公園」付近で観光客を観察し
てみましたが、全国からの観光客が多い
のに驚きと羨ましさを感じました。

特に修学旅行生の団体が多かったよう
です。観光しながら宮崎と比べてみま
した。

先ず、「食べ物」、沖縄独特のしかも
沖縄でないと味わえない食物が豊富であ
ること。飲み物も「泡盛」等独特の
ものがある。

「施設」には、歴史や文化等貴重な且つ
興味深い施設が沢山あり良く管理されて
いる。「物価」も安いし、品物も豊富で
ある。「人情」も大変明るく、歌と踊り
楽器（サンシ・太鼓等）が盛んである。

他にも「沖縄観光」が盛んな事情は沢

山あると思います。

ただ、交通の便が大変悪く、交通渋滞
は当たり前、といった、のんびりしたと
ころがある…と、さすが宮崎の方が交通
事情は優れている…ようです。

最後に、「シーガイアと公的資金の投
入…」についてマスコミで報道され大変
ご心配をおかけしていますが、宮崎県や
県議会等慎重にご審議いただいています。

私達グループ社員としても社長以下全
員が一丸となって一人一人がセールスマ
ンとなり、例え給料がカットになっても、
ボーナスが支給されなくても「販売促進」
に努力するなど、経営再建に向けて真面
目に一生懸命努力いたしております。そ
して県民の皆様のご期待にお応えしよ
う…という気運が盛り上がっています。

何卒皆様の暖かいご支援ご協力をよろ
しくお願い致します。



Happy Voice

家内の誕生日が12月28日、結婚
記念日が12月29日で、両方ともお祝
いをいただき、本当に有り難うございま
す。

老骨に鞭打って、ロータリーのために
微力を尽くしたいと思います。

垂水敏雄
節子

